

# 個人投資家さま向け説明会資料

2019年7月

東京証券取引所市場第一部  
証券コード：8570

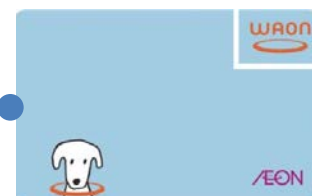
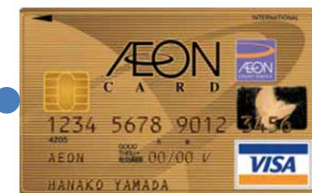
# 経営理念

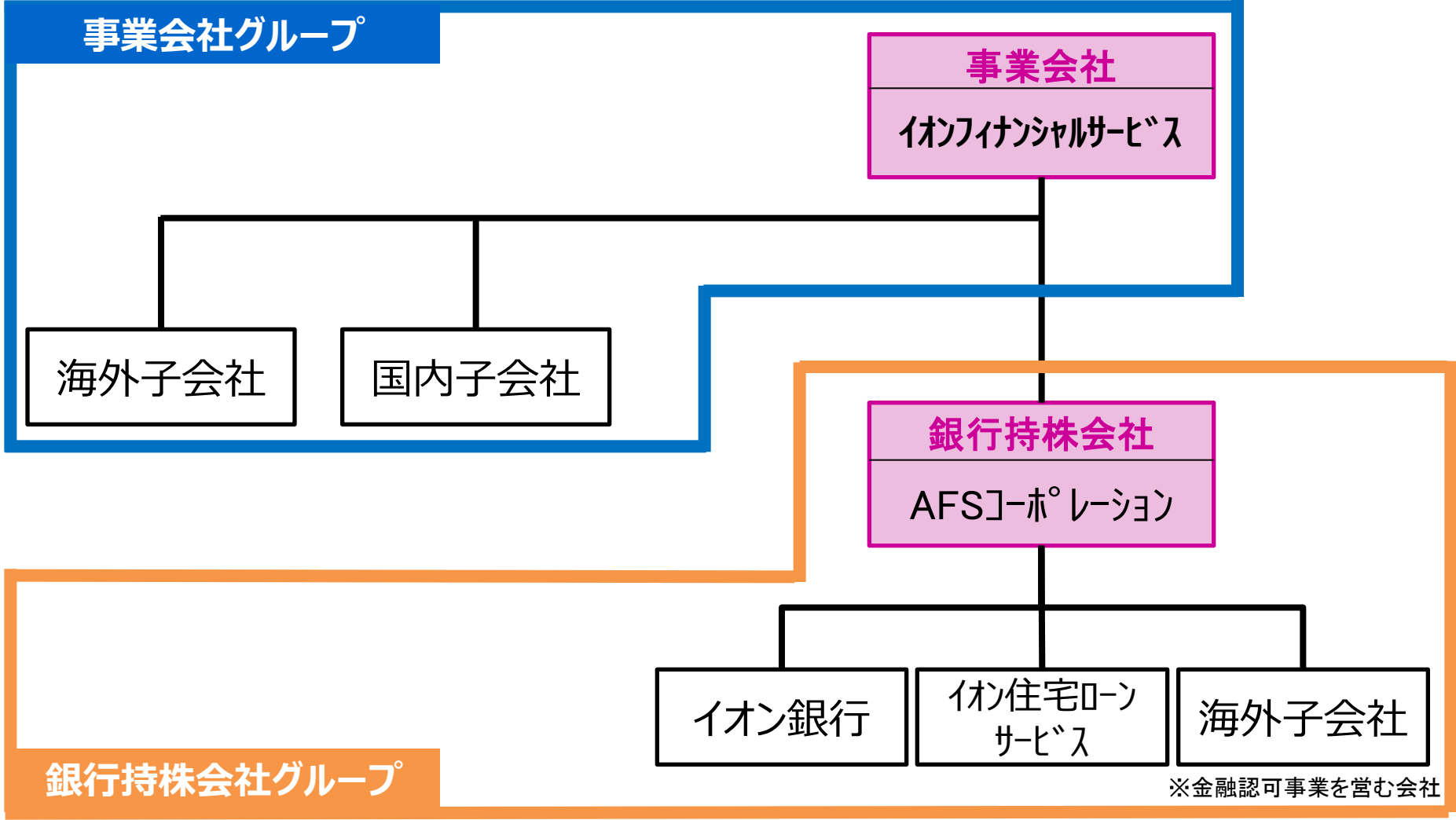
金融サービスを通じ、お客さまの未来と信用を活かす  
生活応援企業



# 会社概要・・・沿革

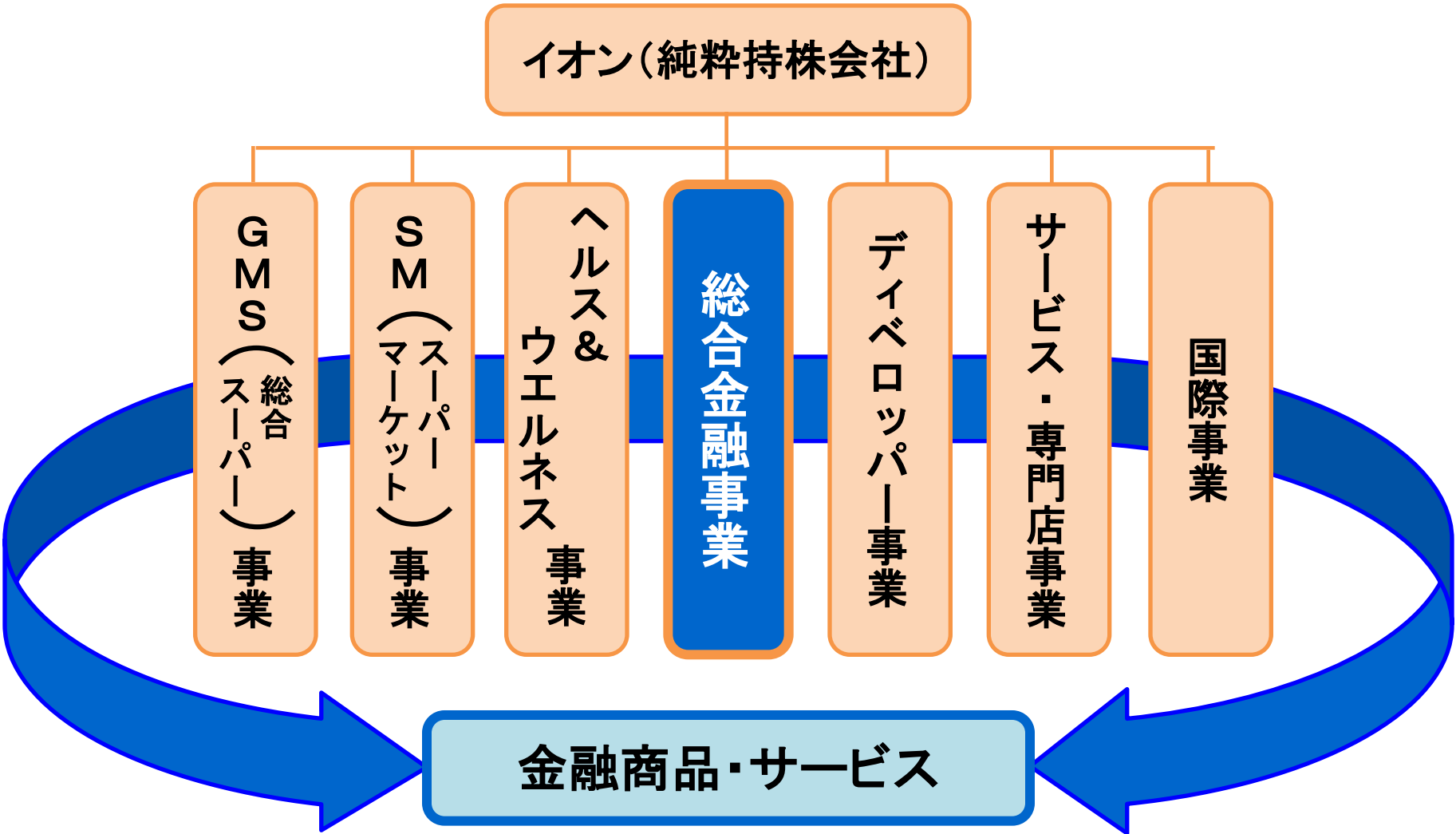
- 1981 会社設立(旧:日本クレジットサービス株式会社)
- 1987 香港に支店設立、海外展開スタート
- 1992 タイに現地法人設立
- 1994 イオンクレジットサービス株式会社に社名変更
- 1996 東証二部上場  
マレーシアに現地法人設立
- 1998 東証一部上場
- 2003 業界初、年会費無料のゴールドカードを発行
- 2007 電子マネー「WAON」のサービスを開始  
イオン銀行開業
- 2009 キャッシュカード・WAON一体型「イオンカードセレクト」を発行
- 2013 イオン銀行と経営統合、銀行持株会社体制へ移行  
イオンフィナンシャルサービス株式会社に社名変更
- 2019 イオンフィナンシャルサービス株式会社の銀行持株会社から  
事業会社への移行  
AFSコーポレーション株式会社設立





# AFSの強み・・・小売業との連携

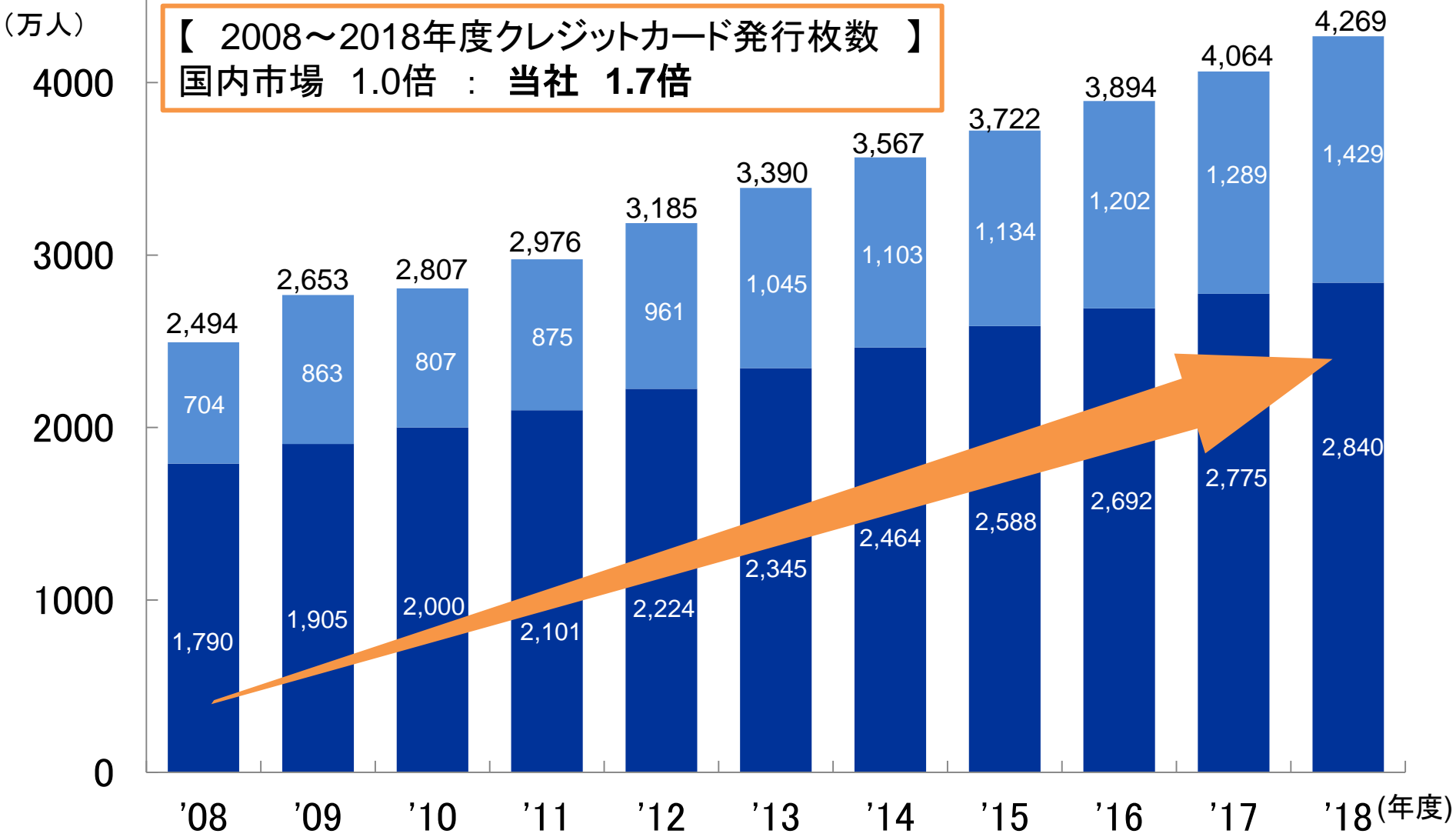
- ・イオングループの店舗ネットワークや集客力を活用
- ・グループの各事業を金融サービスで結び付け、シナジーを発揮



# AFSの強み・・・主力事業の成長

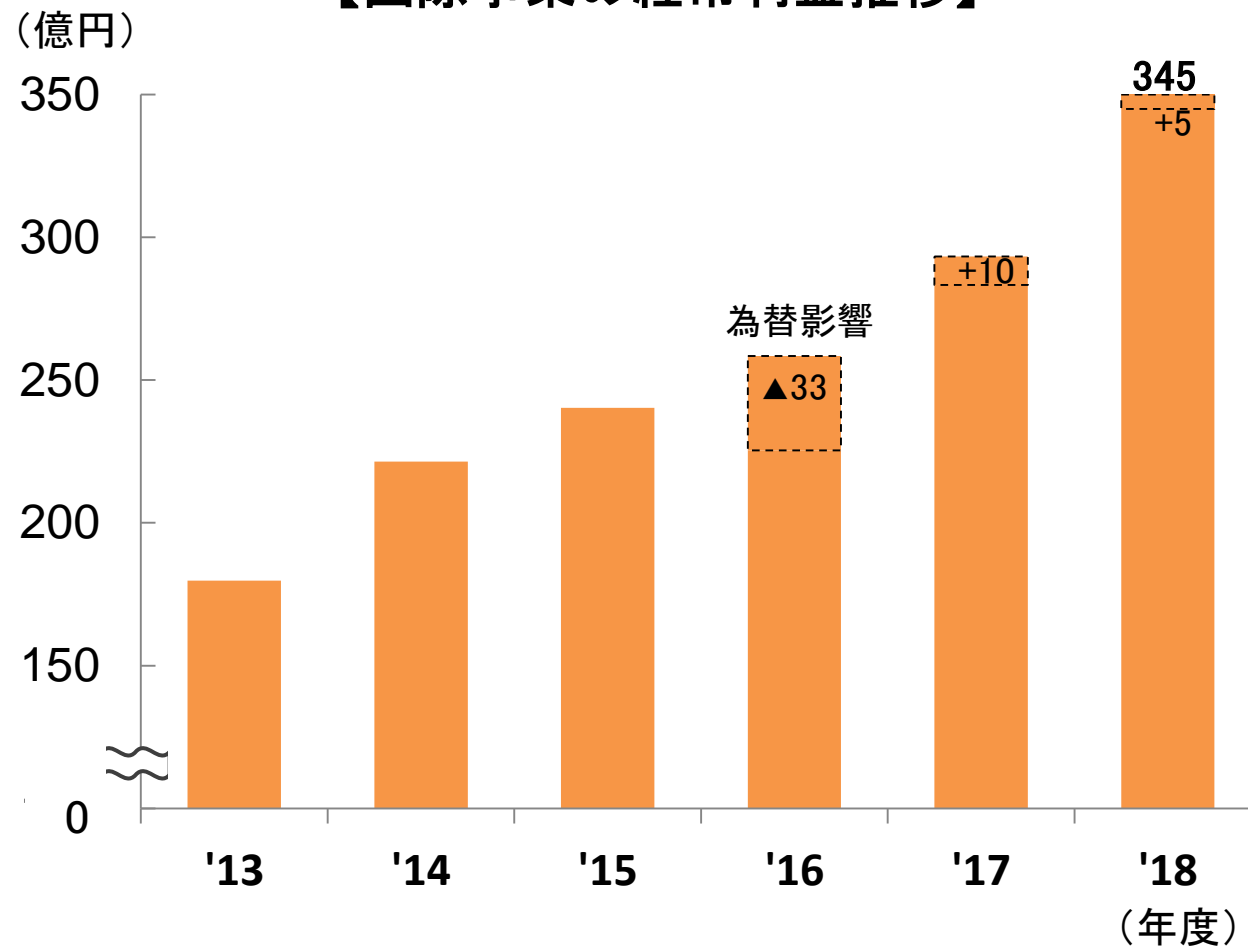
- ・連結有効会員数は年々増加。18年度は4,269万人
- ・国内の会員数は国内最大級

■ 国際  
■ 国内

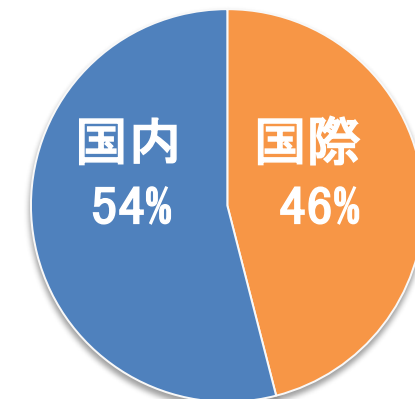


- ・アジア各国の経済成長を背景に、国際事業の業績が伸長
- ・昨年度の連結経常利益における国際比率は5割超

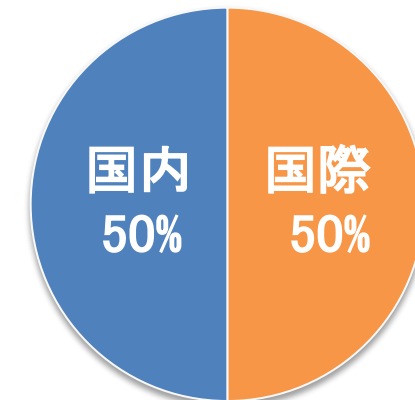
### 【国際事業の経常利益推移】



### 【経常利益構成比】



2017年度



2018年度

# 国内事業の紹介



- ・イオングループの総合金融事業を担い、幅広い金融サービスを展開

## イオンフィナンシャルサービス

### 国内

クレジットカード

銀行

- 預金 ●デビットカード
- ATM
- 投資信託
- 住宅ローン
- 無担保ローン

保険代理店

電子マネー

個品割賦

少額短期保険

リース

### 国際

クレジットカード

電子マネー

個品割賦

各種ローン

保険代理店

# 各種クレジットカード

・外部加盟店との提携を通じた、新たな顧客層の獲得

## 2018年度新規発行カード



<イオンカードセレクト(ミニオンズ)>



<イオンNEXCO西日本カード>



<イオンカード(SKE48)>



## 2019年度新規発行カード



<イオンカードセレクト(トイ/ストーリー デザイン)>  
・キャッシュカード一体型カード



<イオンカード(トイ/ストーリー デザイン)>  
・ベーシックなイオンカード

©Disney/Pixar

## 2018年度 U-25新生活キャンペーン

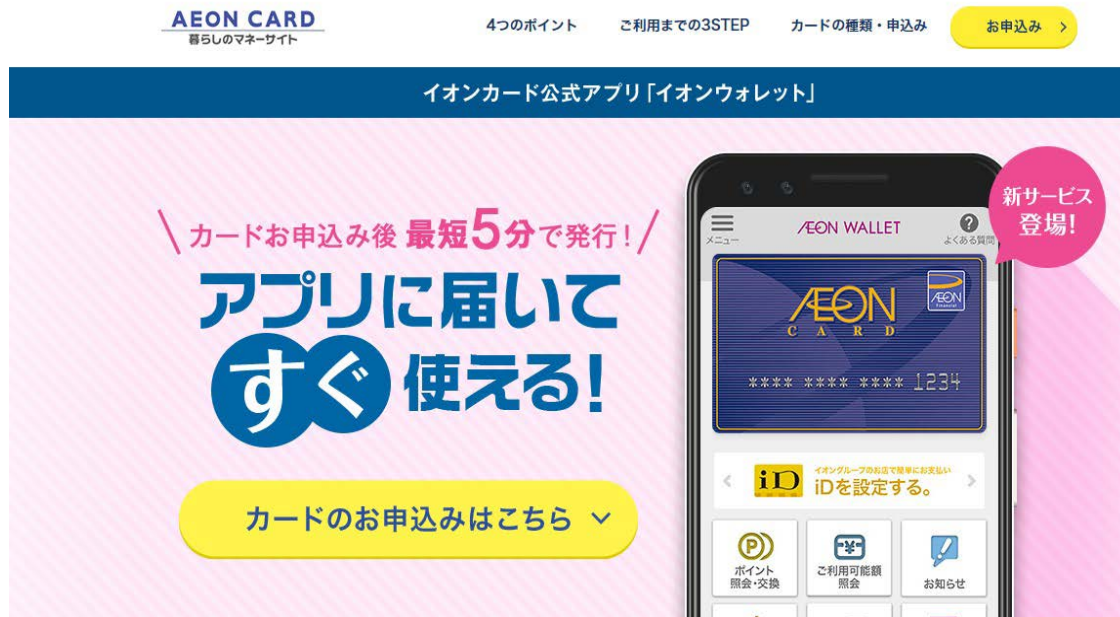


## 2019年度 新キャンペーン



- ・2019年5月、イオンカード即時発行サービス開始。最短5分で審査完了  
→申込み後、即時にクレジットやiDの決済が可能！

イオンウォレットでの提供サービス			
利用明細照会	クーポン配信	リボ変更・キャッシング	イオン銀行口座情報照会
ポイント照会・交換	キャンペーン照会	ご利用可能額照会・変更	優待施設案内



<申込み画面イメージ>



<決済利用イメージ>

# “イオンウォレット”の機能拡充

・イオンカードの機能や関連取引がアプリで利用可能に



請求明細書のWEBへの移行

アプリへ決済機能を追加(予定)

One to One マーケティング

郵送コストの削減

クロスユースの促進

CO2 排出量の削減

タイムリーな利用状況確認

会員募集コストの削減

全カード会員へ適用(11月引落とし分より開始予定)

グループ従業員へ適用(3月引落とし分より実施済み)

- ・年中無休、夜9時まで営業の銀行店舗は全国で140カ所運営
- ・ローン相談会や資産運用セミナーを随時開催



- ・入出金手数料無料で使えるATMは約55,000台(2019年6月末現在)  
みずほ銀行・ゆうちょ銀行・三菱UFJ銀行なども手数料無料！
- ・クレジットカード磁気不良 ATM復元サービスの開始
- ・キャッシュカード不要 スマホ取引「スマッとATM」の導入

イオン銀行ATMがさらに便利になりました

イオン銀行ATM

MIZUHO みずほ銀行 MUFG 三菱UFJ銀行 三井住友銀行  
りそな銀行 ゆうちょ銀行 信用金庫 信用組合 Rろうさん  
ソニー銀行 Rakuten 楽天銀行 住信SBIネット銀行  
GMO あおぞらネット銀行 新生銀行

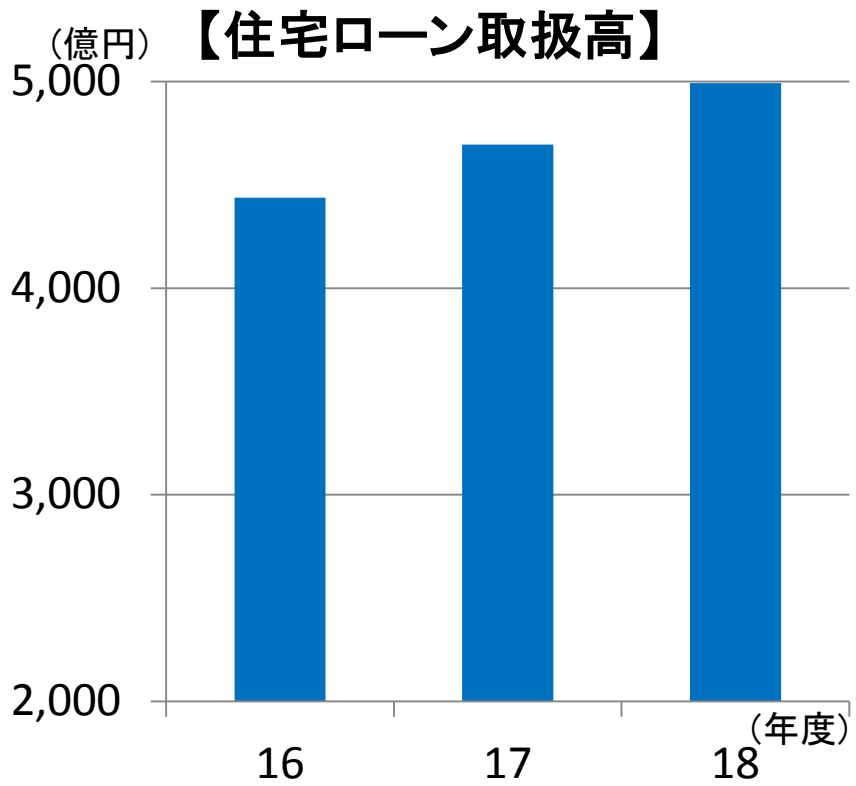
ほか、地方銀行、信託銀行、外国銀行、証券、クレジットカード、海外発行カードなど、いろいろなかカードがご利用できます。

全国およそ**590**の金融機関カードがご利用できます。  
平日日中手数料無料でご利用いただけるカードもたくさんあります。  
くわしくは各金融機関のページをご確認ください。



# イオン銀行・住宅ローン

- ・住宅ローン取扱高は増加傾向
- ・ご契約者さま限定の特典制度が多数



※フラット35、ワンルームマンションローンを含むイオン銀行数値

特

## イオン銀行の住宅ローンなら もしもの時にも安心です!

**失業信用費用保険** が加わってさらに充実!

**8疾病保障<sup>プラス</sup>付住宅ローン**

自発的でない理由で失業し1カ月を超えて再就職できなかった場合、再就職まで最長6カ月間、住宅ローンの返済相当額を保障いたします。

ご加入の場合は住宅ローンのお借入金利が年0.30%上昇せとなります。

毎日わずか 約19円で月々の返済額を保障!

**居住不能信用費用保険**

火災や自然災害などでお住まいが損壊し居住不能となった場合、最長6カ月間住宅ローンの返済相当額を保障いたします。

ご加入の場合は住宅ローンのお借入金利が年0.05%上昇せとなります。

**さらに!!**

イオン銀行住宅ローン  
ご契約者さま特典  
イオンセレクトクラブ

入会金・年会費 無料 /

5% OFF

イオンでのお買い物が **毎日**

**ご入会条件**

お借入金額 **1,000** 万円以上

+ お借入期間 **10** 年以上



+ イオンカードセレクトのご入会

※フラット35をお借入れの場合はご返済口座をイオン銀行に設定。

詳しくはホームページよりご確認ください。

ご利用可能店舗

- ・対象取引(19種)のご利用に応じて貯まる「イオン銀行スコア」で決定したステージの特典を提供
- ・2019年4月からは普通預金適用金利が最大年0.15%!

ステージ	 ブロンズ ステージ	 シルバー ステージ	 ゴールド ステージ	 プラチナ ステージ
普通預金 適用金利	年0.03%	年0.05%	年0.10%	年0.15%
他行ATM 手数料無料回数	月1回	月2回	月3回	月5回
他行宛 振込手数料無料回数	0回	月1回	月3回	月5回
必要な イオン銀行スコア	20点以上	50点以上	100点以上	150点以上

<スコア獲得一例>	対象取引	イオン銀行スコア
イオンカードご契約		10点
イオンカード利用代金お引落		10点～
WAONご利用金額		10点～
WAONオートチャージ		10点
インターネットバンキングご登録		30点
給与のお受取り		30点



・日本経済新聞社 銀行リテール力調査 総合1位！



# イオン銀行

第14回銀行リテール力調査

2018年日本経済新聞社



# 国際事業の紹介

- ・イオングループの総合金融事業を担い、幅広い金融サービスを展開

## イオンフィナンシャルサービス

### 国内

クレジットカード

銀行

- 預金 ●デビットカード
- ATM
- 投資信託
- 住宅ローン
- 無担保ローン

保険代理店

電子マネー

個品割賦

少額短期保険

リース

### 国際

クレジットカード

電子マネー

個品割賦

各種ローン

保険代理店

# 事業の展開状況

- ・海外現地上場3社を中心とした3つのエリアで構成
- ・イオンの小売店舗有無に関わらず、クレジットカード、パーソナルローン、個品割賦等のサービスを提供

	中華圏		メコン圏					マレー圏			
	香港	中国	タイ	カンボジア	ベトナム	ミャンマー	ラオス	マレーシア	フィリピン	インドネシア	インド
イオンの展開 (小売店舗)	●	●	●	●	●	●		●		●	
クレジット カード	●		●	●				●		●	
パーソナル ローン	●	●	●	●		●		●	●		●
個品割賦		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
電子マネー (プリペイド)				●				●			
保険代理	●	●	●					●			
ポイントカード				●				●			

- ・沿革：1990年現地法人設立・1995年現地証券取引所に上場
- ・有効会員数：132万人(2019年2月)
- ・主要な取組み：グループ小売での特典増強、イオンプレミアムカード発行  
日系企業との提携による若年層の取り込み



< イオンストアーズ香港での販促事例 >

< ONEPIECE Mastercard カード募集 >

- ・沿革：1992年現地法人設立・2001年現地証券取引所に上場
- ・有効会員数：852万人（2019年2月）※現地最大のノンバンク
- ・主要な取組み：現地企業との提携カード  
訪日客向けカードの発行



＜ビッグC店内の募集ブース＞



＜タイ国際航空との提携カード＞



＜JCBとの提携カード＞

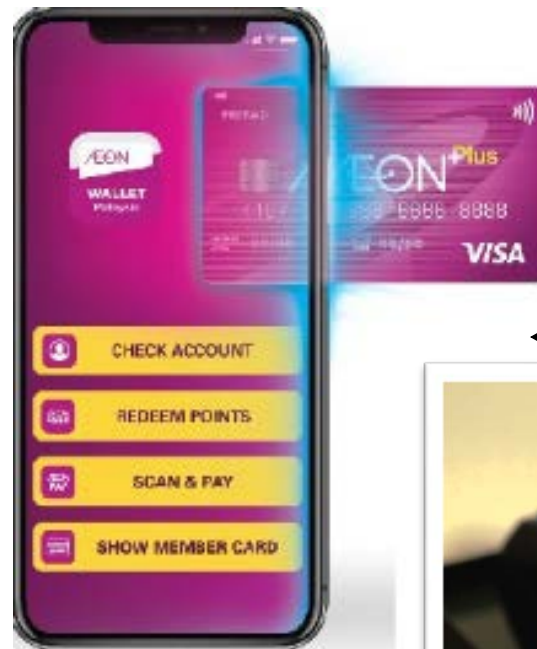
- ・沿革：1996年現地法人設立・2007年現地証券取引所に上場
- ・有効会員数：258万人(2019年2月)※ID共通化により600万人
- ・主要な取組み：イオンメンバープラスカード アプリへ集約化  
グループ小売2社のポイントカード ID共通化  
電子マネーによる決済サービスの提供



〈当社の  
メンバーカード〉



〈グループ  
小売2社の  
ポイントカード〉

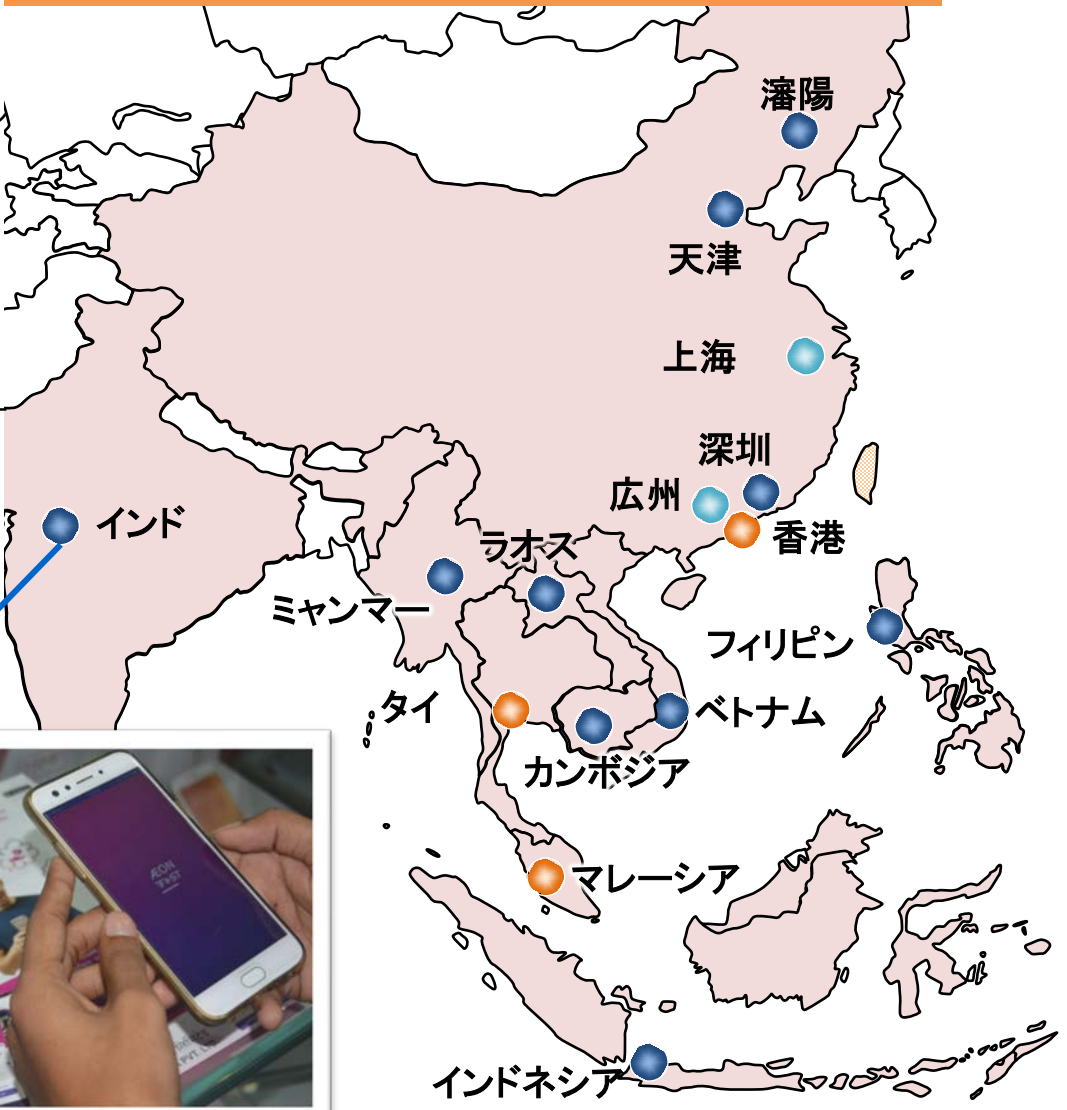
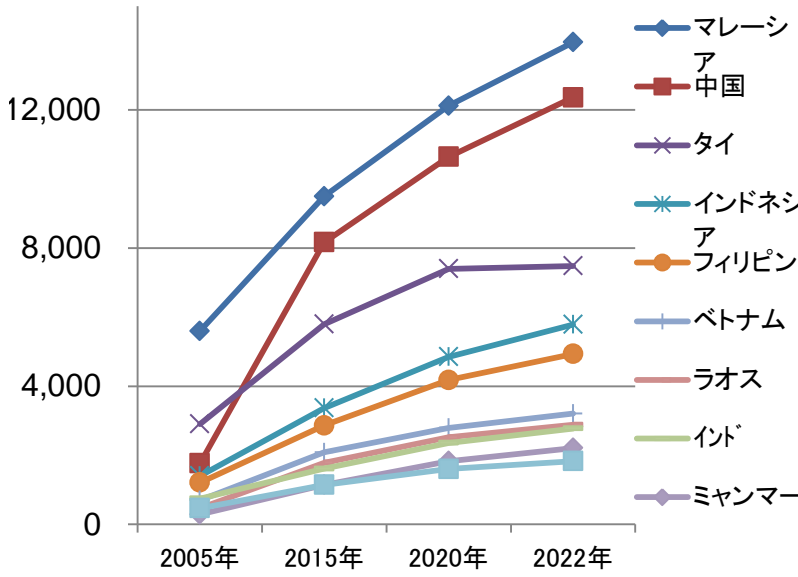


〈電子マネーによる決済〉

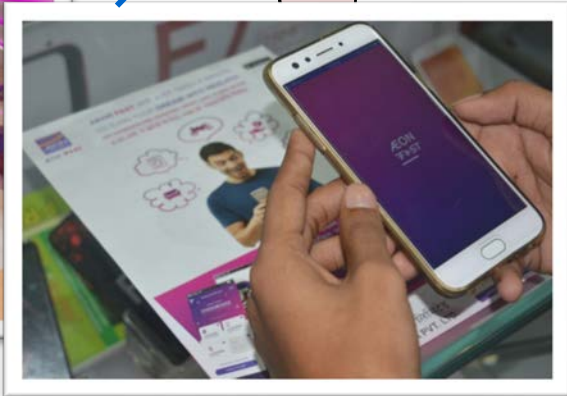
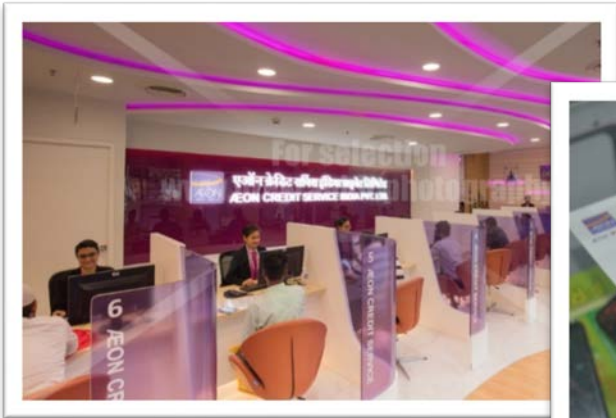


# 上場3カ国以外の展開国

日本を含むアジア11ヶ国で事業を展開



【アジア各国の一人あたりGDP推移】



# ESGの取り組み



- ・国内・海外で植樹活動に参加
- ・タブレット端末やデジタルサイネージ導入、Web明細基本サービス化  
→ペーパーレス化を推進し、CO2を削減



＜海外における植樹活動＞



＜国内店舗におけるデジタル化＞



＜海外店舗におけるデジタル化＞

- ・社会的課題の解決を事業や利益成長の機会と捉え、展開各国の課題に対応した取り組みを実施

2018年度

2019年度

## 【IoTを活用したオートローン事業】



フィリピン



インドネシア



- ✓ しくみ: IoTデバイスによるエンジン遠隔制御
- ✓ 提携: タクシー協会によるドライバー返済保証
- ✓ 創出: 支払能力はあるが審査に通らない層(アバン外層)への商品提供  
ドライバーの就業機会提供
- ✓ 成果: **経営理念の実現**

「金融サービスを通じ、お客さまの未来と信用を活かす生活応援企業」

**海外各国への展開**

**貸倒件数 0件**

2017年7月～ フィリピンにて三輪タクシー向け開始

2018年7月～ フィリピンにて四輪タクシー向け開始

2018年11月～ インドネシアにて四輪タクシー向け開始

- ・社会的課題の解決を事業や利益成長の機会と捉え、展開各国の課題に対応した取り組みを実施

2018年度

2019年度

## 【IoTを活用した農業機械・車両ローン】



ベトナム



- ✓ **しくみ**：IoTデバイスによるエンジン遠隔制御
- ✓ **提携**：政府・地方自治体、農協・農業組合、農機具メーカー、保険会社
- ✓ **創出**：大規模農業の普及支援  
農業の近代化、生産性向上、安心・安全の提供  
機械・車両メーカーとのマッチング
- ✓ **成果**：農業融資のノウハウ取得  
海外各国への展開  
(インド・インドネシア・フィリピン・ミャンマー)

# 災害復興支援の取組み

- ・塩害被害のあった農地での綿花栽培事業に参加  
従業員による綿花収穫ボランティアと寄付金の贈呈
- ・岡山県マルナカ真備店へ「移動ATM」を派遣



＜寄付金贈呈式＞



＜移動ATM＞

# 取締役会構成の見直し

- ・独立役員による客観的、中立な経営監視機能が十分に機能する体制を整備
- ・更なる経営の透明性を高めるため、社外取締役の割合は3分の1以上

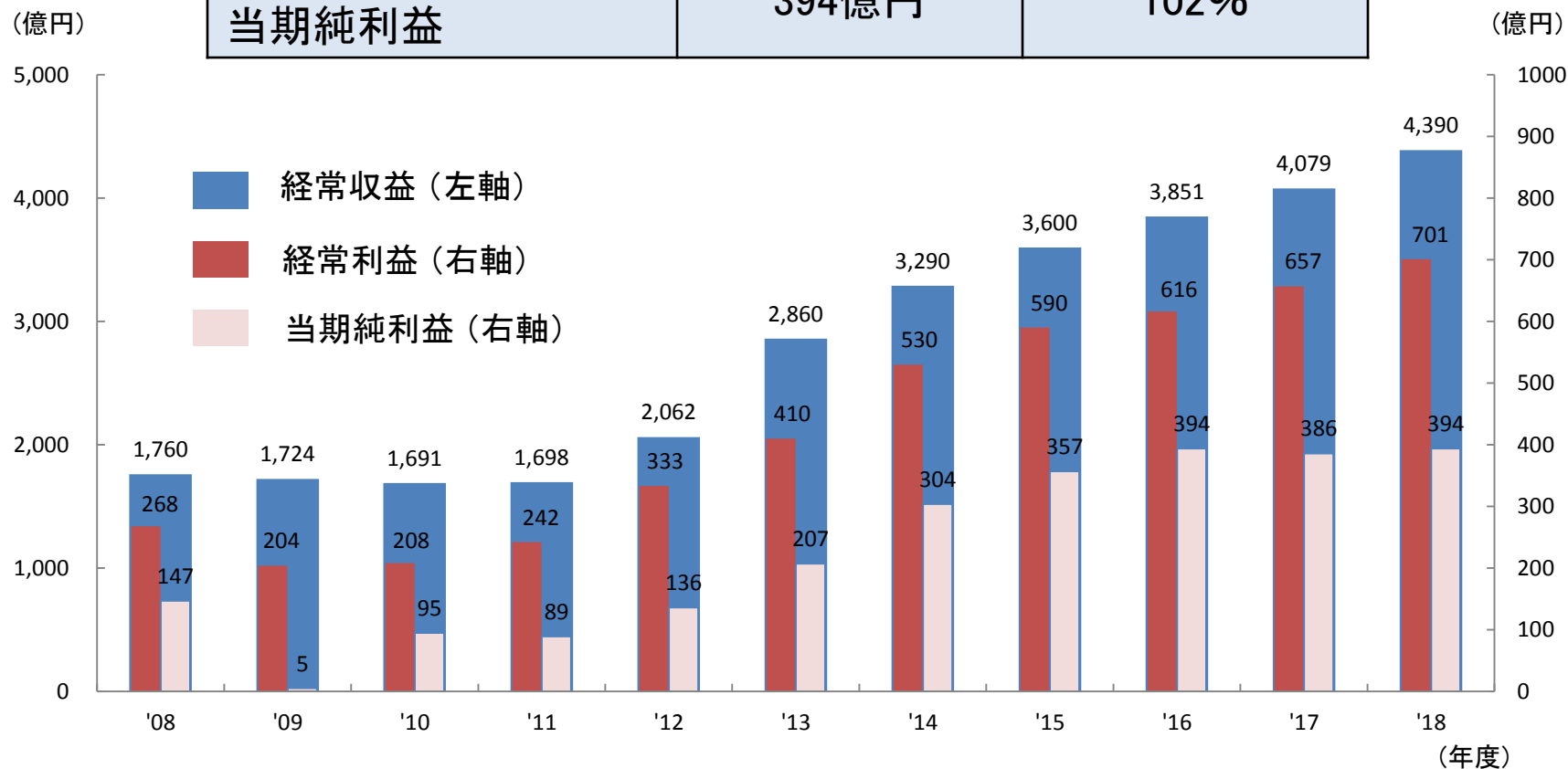
		取締役	監査役
人数		12名	4名
	内、社外役員	4名 (内、女性1名)	2名 (内、女性1名)
	内、独立役員	2名 (内、女性1名)	2名 (内、女性1名)

# 業績・配当予想

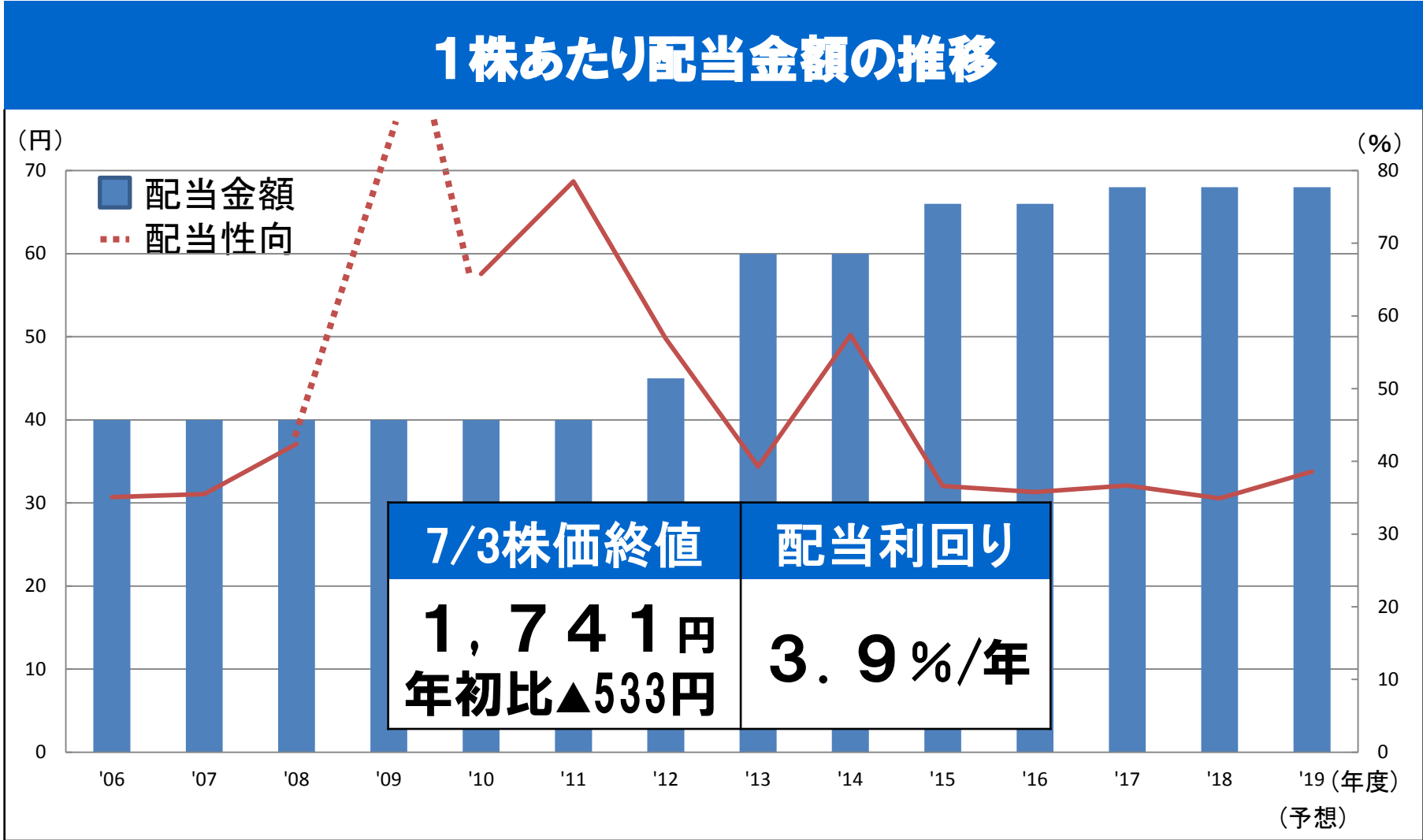
# 連結業績推移

・2018年度の経常収益・経常利益は過去最高。8期連続の増収・増益

	18年度通期	前期比
連結経常収益	4,390億円	108%
連結経常利益	701億円	107%
親会社株主に帰属する 当期純利益	394億円	102%



- ・株式上場以来、安定配当を維持
- ・加えて、利益成長に応じた増配、記念配による株主還元を実施





# 2019年度 連結業績予想

・決算期を3月期から2月期へ変更(※1)

	2019年度(2019年4月1日～2020年2月29日)		
	第2四半期 (累計)	通期 (11ヶ月間)	(参考※3) 12ヶ月間換算数値
営業収益(※2)	2,250億円	4,300億円	4,700億円
経常利益	250億円	700億円	730億円
親会社株主に帰属する 当期純利益 (1株当たり当期純利益)	131億円	380億円 (176円11銭)	400億円 (185円38銭)

	第2四半期末		期末		年間		配当性向	
	予想	前期比	予想	前期比	予想	前期比	予想	前期比
配当予想	29円	±0円	39円	±0円	68円	±0円	38.6%	+3.8%

※1 業績予想および配当性向は、決算期変更後の2020年2月期(11ヶ月間)の数値

※2 組織再編に伴い、業績予想の記載方法を変更

※3 通期業績予想を12ヶ月間(2019年4月～2020年3月)に調整した数値

～今後もより良いサービスのご提供に努めてまいります～

本資料のうち、当社の将来的な経営戦略や営業方針、業績予測等にかかわるものは、いずれも現時点において当社が把握している情報に基づいて想定、算出されたものであり、経済動向、業界での競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度等に関わるリスクをはじめとする様々な不確定要素を含んでおります。従って、将来、実際に公表される業績等はこれらの種々の要素によって変動する可能性があります。

Q1 PayPay等のQR決済が台頭してきているが、対策は何か。

A1 上期にイオングループ一体となったキャッシュレスキャンペーンの実施、スマートフォンアプリ「イオンウォレット」への新たな決済機能追加を対策として計画している。

Q2 自社株買いは実行しないのか。

A2 当社方針として、内部留保・新たな成長への投資・株主還元の3つを重点的に収益配分をしていく。株主還元は優先して実行していく考え。自社株買いについて、検討しているが機関決定には至っていない。

Q3 株主優待は実施しないのか。

A3 法人株主や海外投資家との公平性を考慮し、株主皆さまへの還元は配当によるものが最も適切だと考えている。一律に株主優待を実施することについて、皆さまに行渡る制度を模索し、引き続き検討していく。



# イオンフィナンシャルサービス